

2023年度 第3回 苦情処理委員会

日時 3月28日(木) PM2:00~3:00

場所 ちどり保育園 手つなぎルーム

園長(井上邦子) 主任(中村智絵)

《議題》 ※ 苦情処理委員会で審議の必要な事例はなし。

1) 今まで(2月~3月)の経過報告

① 保護者との連携・保護者対応

・保育園における感染症の状況について

・1月中旬から2月中旬の約1か月間は園内でもインフルエンザ等の感染症が流行した。園児や職員の感染が次々に確認された。職員が出勤できず保育体制の厳しい日も多かったが、何とか職員間の連携で保育をすることが出来た。3月に入り、感染症も落ち着いてきたので今年は、幼児クラスはバスに乗り「お別れ遠足」に行くことが出来た。コロナ禍で数年は、施設間交流もできなかったが、久しぶりに風の子保育園へ行った。(くじら組) 日常生活も戻り、3月17日には無事、卒園児全員出席でくじら組の「卒園を祝う会」を終えることが出来た。

・個別対応の必要な家庭

- ・行政機関との連携(児童相談所・療育センター・保健所等)
- ・さぼーと保育利用の保護者への支援
- ・異文化コミュニケーション ※ 事例について報告

② 安全と衛生の対策・危機管理

- ・日常の保育環境における安全点検と対策(園庭・室内)
- ・ヒヤリハット、事故の検証と情報共有⇒ 2023年度の傾向と対策
- ・2024年度 方針会議で職員間の共有をする。

③ 保育方針の理解

- ・法人の綱領を保護者と共有する。「子どもたちの健やかな成長を保障する平和で民主的な社会」の実現のためにも、今の情勢を知り考え、保育子育て、平和についての思いを語り合い、子どもたちのしあわせを願うすべての人たちと力を合わせていく。
- ・2023年度は、年度途中で職員の退職や休職があったものの、その後の保育士確保がなかなか出来ず、担任のクラス異動も含め、職員の連携で何とか乗り切ることが出来た。現在の全国的な保育士不足の問題については、保護者の理解もあり保育士配置の改善を求める署名運動等、積極的に活動してくれた。

また、職員の負担軽減のために遊具づくりの手伝いを保護者がしてくれたクラスもある。

※ちどりの保育の歴史（保育理念）は、コロナ禍で、人と人との繋がりが持てず希薄になった数年間で、改めて認識させられた。孤立せず、みんなで「共育て共育ち」していく事の大切さを引き続き、大切にしていきたい。

④ 地域との関係

- ・地域住民の方へは、日頃から子どもの声やピアノの音など、理解し支えてもらっているため、卒園を祝う会の前日に、子どもたちの様子を含め感謝の気持ちを伝えるニュースを配布した。近隣の家には挨拶に行った。
- ・駐車場待ちの路上駐車に対する近所からの苦情は減っているが、引き続き、ルールの徹底と協力を呼びかけていく。
- ・長くふれあいサロンに参加されていた方が高齢になられ、病気や入院等で来れない方が増えてきていた。しかし、「ひまわりはらだ」や近隣のデイケアセンターからの新たな参加者も増えてきている。次年度も地域の方に保育園の事を知ってもらう機会を大切にしていきたい。